平成１９年度　教育実践研究論文表彰式

平成２０年３月１１日（火）審査委員、教育長、局長、各部長の出席のもと、平成１９年度教育研究論文入賞者の表彰式が行われ、３６本中１４本の論文が入賞し、１８名の方々が表彰されました。

～入賞論文～

学校教育・幼児教育の部

□教育長賞

★　安達　由美　（青少年相談センター　青少年教育相談員）
「支援教室通室生徒の卒業後の適応状況」～ 中学生支援教室「銀河」通室生徒の追跡調査より ～

□優秀賞

★　菅原　　勝　（新磯小学校）
「わたしたちの町じまん　町おこし　町づくり」
～ 新磯ガイドブックを活用して『新磯サミット』を開こう ～

★　西山　俊彦　（相模川自然の村野外体験教室）　「若あゆからの発信　職農体験のすすめ」
～ 一粒の種、一本の苗から食といのちを考える ～

□奨励賞

◆　山口　睦子　（前　橋本小学校　校長）
「子どもたちの目の輝きを求めて」～ 講話朝会への想い ～

◆　金山　光一　（宮上小学校　校長）
「津久井相模原学校子ども交流プロジェクト」～ 環境の世紀に向けた宮上小の取り組み ～

◆　江藤　幸恵　（ふじの幼稚園　園長）
「幼稚園で育てる生きる力の基礎」～ さまざまな人との交流を通して ～

◆　堀　　俊　（神奈川県立相模原高等学校）
「シチズンシップ教育の推進」
～ 模擬投票の実施 ～

◆　田中　茂樹　（神奈川県立相原高等学校）
「地域の食文化の継承」
～ 食育活動から地域づくり ～

◆　眞間　秀子　（桜台小学校）
　　高橋　隆昭　（双葉自治会　会長）
「学校と地域が連携して子どもの感性を育む
桜台美術館の活動」

（１９年度教育実践研究論文受賞者）

社会教育の部

□教育長賞

★　中島　理志　（子ども育成課母子手当チーム）
「コレが津久井式！アドベンチャー体験教育です」
～ チュービング川下り事業から発見したこと ～

□優秀賞

★　高橋　和則　（陽光台小学校ＰＴＡ会長）
「陽光台小ＰＴＡ・学校と地域・関係機関・団体連携による『安全・安心な町づくり』の一考」
～ 「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」参加を機に子どもを中心に地域が一つに！！ ～

□奨励賞

◆　田上　雄二　（津久井地区青少年指導員）
「相模原市津久井町宿泊通学体験事業の報告」

◆　豊浦　友子　（相模原市食生活改善推進団体わかな会）
　　中西　知子　（相模原市食生活改善推進団体わかな会）
　　奥村　芳江　（相模原市食生活改善推進団体わかな会）
「私達の食育活動」～ 子どもの頃から良い食生活を ～

◆　松井　一恵　（上鶴間小学校　学校ボランティア）
　　深田佐登美　（上鶴間小学校　学校ボランティア）
「英語絵本読み聞かせ」～ ５年間の歩みとこれから ～

今年度は教育長賞に２本が選ばれました。地域との連携を図ったものや、食育や英語などテーマも広がりが見られました。

これらの論文は７月３０日の「第４２回教育研究発表大会」において発表される予定です。また入賞論文は論文集に掲載され、小・中学校や公民館、図書館に送付される予定です。是非ご覧ください。